

2018年度第3回経営協議会議事要旨

- 日時 2018年11月19日（金） 13:00～15:15
- 場所 役員会議室
- 出席者 吉澤 靖之学長、
氏家 純一委員（学外委員）、遠藤 信博委員（学外委員）、
北島 義斉委員（学外委員）、白石 興二郎委員（学外委員）、
瀬下 明委員（学外委員）、福田 誠委員（学外委員）、
三澤 正文委員（学外委員）、山口 武兼委員（学外委員）、
烏山 一委員（企画・大学改革担当理事）、
田上 順次委員（教育・学生・歯学部改革担当理事）、
渡邊 守委員（産学官連携・研究展開担当理事）、
田中 雄二郎委員（医療担当理事）、
片山 純一委員（財務・施設・人事担当理事）
- 陪席者 大崎 猛監事、春日野 珠恵監事、木村 彰方特命副学長（研究・評価担当）、
田賀 哲也特命副学長（国際担当）、
後藤 啓二特命副学長（法務・コンプライアンス・地域貢献担当）、
澁谷 浩司副学長（広報担当）、近藤 弘特命企画学長補佐、
永田 勝総務部長、飯田 和彦財務部長、佐藤 功施設部長、
佐藤 和也統合情報機構事務部長、横山 直樹統合教育機構事務部長、
村松 正明総務部次長、高見澤 昭彦病院統括部次長、
下田 弘二学長戦略企画課長、福好 秋徳財務企画課長、
荒川 徹総務部総務秘書課長、上村 七奈統合研究機構事務長

○ 確認事項

- 1 2018年度第1回及び第2回（持ち回り）経営協議会議事要旨（案）について
吉澤学長から、2018年度第1回及び第2回（持ち回り）経営協議会議事要旨（案）
について、資料1及び資料2に基づき確認を行い、原案どおり承認された。

○ 審議事項

- 1 人件費削減に関する基本方針（案）について
吉澤学長から、人件費削減に関する基本方針（案）について審議願いたい旨の
提案の後、永田総務部長から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、原案ど
おり承認された。

また、福田委員から、具体的な年次計画及び削減方法について質問があった。この質問を受けて、永田総務部長から、具体的な年次計画については、現在、人事委員会にて検討している旨、また、資料に記載のある削減人数は単純に削減目標金額を人数換算したものであり、削減方法については、外部資金の獲得等により、大学のパフォーマンスを維持しながら人件費を下げることも併せて検討していく旨の回答があった。

白石委員から、多様な勤務形態について具体的にどのような制度を想定しているのか、また、労働過重に繋がる恐れはないか、との質問があった。この質問を受けて、永田総務部長から、多様な勤務形態については、例えば短日数勤務制度の活用等、過重労働に繋がらない形を想定している旨の回答があった。

三澤委員から、塔の山宿舎廃止後の土地活用については承認したが、今後の土地活用においては、分院の経営等、より有効活用できる方法を検討して欲しい旨の発言があった。この発言を受けて、田中理事から、分院の経営は大学のミッションにも合致するため、今後別の土地活用において検討する旨、一方で、塔の山宿舎の跡地については、面積の問題等により、分院の経営は考えていない旨の発言があった。

2 人事院勧告への対応（案）について

吉澤学長から、人事院勧告への対応(案)について審議願いたい旨の提案の後、村松総務部次長から、資料4-1及び資料4-2に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3 病院情報管理システムの更新（案）について

吉澤学長から、病院情報管理システムの更新（案）について審議願いたい旨の提案の後、田中理事から、資料5に基づき説明があり、審議の結果、2020年1月までにハードウェアリプレイスを実施することが承認された。なお、金額等の詳細については、別途本会議に報告することとした。

山口委員から、現在保有しているデータの継続性に関して十分な検討をお願いしたいとの発言があった。

瀬下委員から、この機会に、院内のみならず、他の病院間でも患者情報がスムーズにやりとりできるよう、コンサルティングファーム等の専門家をいれて対応を検討してほしい旨の発言があった。この発言を受けて、田中理事から、現在検討を行っており、今後も検討していく旨の発言があった。

4 駿河台地区の今後の土地活用（案）について

吉澤学長から、駿河台地区の今後の土地活用（案）について審議願いたい旨の提案の後、飯田財務部長から、資料6に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

5 2017年度自己点検・評価報告書【総評】（案）について

吉澤学長から、2017年度自己点検・評価報告書【総評】（案）について審議願いたい旨の提案の後、木村特命副学長から、資料7-1及び7-2に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

また、氏家委員から、英語による教養教育科目数の将来計画について質問があった。この質問を受けて、田上理事から、正確な数字ではないが、2021年度までに専門科目を含む学士課程における外国語による授業科目数を24科目にする計画である旨の回答があり、本件については後日改めて情報提供させていただくとの発言があった。

さらに、氏家委員から、進捗が遅れた取組もあるのかとの質問があった。この質問を受けて、木村特命副学長から、本学では年に2回、年度計画の進捗を管理しているため、遅れた取組はない旨の回答があった。

山口委員から、将来の日本の医学界をリードする人材を育成するために、リベラルアーツについても常に配慮していただきたい旨の発言があった。

6 歯科棟南等改修整備に伴う担保及び極度額の増額（案）について

吉澤学長から、歯科棟南等改修整備に伴う担保及び極度額の増額（案）について審議願いたい旨の提案の後、高見澤病院統括部次長から、資料8に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

また、瀬下委員から、再整備計画全体を見越して極度額を設定するのではなく、その都度極度額を上げている理由について質問があった。この質問を受けて、高見澤病院統括部次長から、極度額の設定については、年度毎に必要額に応じて設定しているが、今後は歯科棟と機能強化棟を併せて担保に入れ、極度額を一括してあげることも検討する旨の説明があった。

7 役員賞与の成績率の決定（案）について

吉澤学長から、役員賞与の成績率の決定（案）について審議願いたい旨の提案があり、支給対象の理事及び監事並びに陪席者が退室した後、配付された資料9-1に基づき、吉澤学長から説明があり、審議の結果、理事及び監事の賞与の成績率

について原案どおり決定した。

その後、資料9-1の回収があり、退室していた理事及び監事が入室した。続いて、吉澤学長から、学長の賞与の成績率について審議願いたい旨の提案があり、議事進行を瀬下委員へ依頼した後、吉澤学長が退室し、配付された資料9-2を参考に審議した結果、学長の賞与の成績率について決定した。

その後、資料9-2の回収があり、吉澤学長及び陪席者が入室した。

○ 報告事項

1 2018年度上半期を踏まえた収支見込について

福好財務企画課長から、2018年度上半期を踏まえた収支見込について、資料10-1及び資料10-2に基づき説明があった。

2 附属病院の将来に関する検討について

田中理事から、附属病院の将来に関する検討の状況等について、資料11に基づき説明があった。

また、遠藤委員から、病院のオペレーション及び情報という観点から、プラットフォームの共有について検討いただきたい旨の発言があった。

瀬下委員から、両附属病院で行っている受付や会計等の合理化について、強力かつ早急に進めていただきたい旨の発言があった。

白石委員から、一体化により患者目線に立った診療が強化されることが最も重要であり、節約できた資源を研究開発や施設の拡充に充てることができればなお良いのではないかと発言があった。

福田委員から、昨今では病院同士や大学同士の統合もあるため、一体化により両附属病院の良いところを残しながら効率化を図る流れは当然である旨の発言があった。

三澤委員から、一体化するのであれば、両附属病院がそれぞれ再整備を行い借金を背負うのではなく、大きなビルを1棟建設して共有するような発想が必要である旨、また、医科は統合により一極に集中することで収入を上げることができるが、歯科は小規模の病院がいくつかある方が収入になるため、分院の経営も含めて検討していただきたい旨の発言があった。これらの発言を受けて、田中理事から、一体化することで事業を拡大し、病院全体の稼働を増やして人件費比率を下げる方向を目指しており、分院についても参考としたい旨の発言があった。

3 文部科学省「オープンイノベーション機構の整備事業」の採択について

渡邊理事から、文部科学省「オープンイノベーション機構の整備事業」の採択について、資料12に基づき説明があった。

○ 報告事項

4 医学部医学科の入学者選抜における公正確保に係る緊急調査について

田上理事から、医学部医学科の入学者選抜における公正確保に係る緊急調査について、説明があった。

5 懲戒処分について

永田総務部長から、懲戒処分について、資料13-1及び資料13-2に基づき説明があった。

○その他

1 次回の経営協議会について

吉澤学長から、次回の経営協議会は、2019年1月31日(木)の開催を予定している旨の発言があった。

(以上)